



徳島 木のおもちや美術館

TOKUSHIMA WOODEN TOY MUSEUM

2021年10月開館
Coming soon

自然・伝統・文化を活かした「木育」おもちゃ美術館

県土の約4分の3を森林が占め、林業で地域経済の活性化を目指すべくさまざまな取り組みを行う徳島県。県内に広がる美しい自然、そして木の魅力、伝統、文化を幅広い世代の方々に知っていただきたく「徳島木のおもちや美術館」は誕生します。



木の恩恵を伝える「木育」美術館



徳島の伝統、文化を伝える美術館



おもちゃ学芸員がもてなす美術館

徳島県産材をふんだんに使った館内に、さまざまなおもちゃが揃います!



※CG写真は全て製作途中イメージ

■各コーナーの特長 ※一部抜粋して紹介

グッド・トイのもり:

認定NPO法人芸術と遊び創造協会が選定する「グッド・トイ」を取りそろえた専用ルーム。世界中の良質なおもちゃは、老若男女、洋の東西を問わず、多くの方を笑顔にします。

ごっこフォレスト(おもちゃのもり):

館内でも最大の高さと広がりをもつ開放感のある空間は、2層構造として活用し、山を散策するように、おもちゃの詰まった「遊びの遊山箱」を持ち歩いて楽しめる、徳島ならではの遊びを計画しています。

ウダツのまち(おもちゃのまち):

様々な遊びのできる小屋をテーマごとに設置します。小屋のデザインには、国重要伝統的建造物保存地区として県内の代表的な観光資源でもある「うだつの町並み」を取り入れ、来館者へ文化的背景も伝えていきます。

赤ちゃん木育ひろば:

3歳未満とその保護者専用の木育ルーム。赤ちゃんが安心してハイハイやつかまり立ちができる広さを確保し、年齢や発達に合わせた空間デザインとおもちゃ・遊具を配置し、ゆったりと遊ぶことができます。

全国に広がる「姉妹おもちゃ美術館」

全国で7館目の姉妹おもちゃ美術館

東京おもちゃ美術館では、当館の理念にご賛同いただいた方々と一緒に、日本中におもちゃ美術館を設立する、「姉妹おもちゃ美術館」事業を進めています。徳島木のおもちゃ美術館は、全国で7館目の開館。姉妹美術館へも是非、訪問ください。



※水色字の日程は開館予定時期です



「くつろぎ館リニューアル」+「木育の小径(こみち)」

おもちゃ美術館をもっと楽しく!

2021年7月1日より、隣接するレストラン「くつろぎ館」をリニューアルオープンいたしました。徳島県産材をふんだんに使用した空間で、多くの家族連れや観光客の方々に素敵な時間を楽しんでいただくことを目指します。

また、「あすたむらんど徳島」正面入口に美術館専用ゲートを設け、木々をくぐりぬけてドキドキワクワクしながら美術館に向かう「木育の小径」を新たに整備する計画です。



※くつろぎ館内観イメージ



※木育の小径(こみち)イメージ

徳島木のおもちゃ美術館

TOKUSHIMA WOODEN TOY MUSEUM

【所在地】

徳島木のおもちゃ美術館

検索

徳島県板野郡板野町那東字キビガ谷45-22(あすたむらんど徳島内)

TEL :088-621-2484 (徳島県農林水産部スマート林業課)

入館料

小学生未満	無料
小中学生	300円(240円)
一般	800円(640円)
年間パスポート(小中学生)	2,100円
年間パスポート(大人)	5,600円

※()の金額は、団体料金(20名以上での入館)です。

【休館日】水曜日(祝日の場合は翌日休館。8月12日~15日の水曜日は開館)

【開館時間】09:30~16:30(7月1日から8月31日までの期間は、09:30~17:30)

【アクセス】徳島自動車道 藍住ICから車で15分

・高松自動車道 板野ICから車で5分

・神戸淡路鳴門自動車道(高松自動車道)板野ICから車で5分

・JR板野駅から 車で5分

【駐車料金】無料